

授業科目(ナンバリング)	法学 (AD117)			担当教員	星野 秀治		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>私たちは、誰もが社会的な関係のなかで生活しており、その社会の秩序を維持するためにはルールが必要である。そのルール（規範）が「法」である。その意味で、法は私たちの生活と深いかかわりを持っており、私たちに非常に身近な存在である。だが、その一方で、法には法の独特なものの考え方がある。本講義では、日常生活上の具体的な例をあげながら、私たちの生活と法のかかわりについて考えるなかで、「法的なものの考え方（リーガル・マインド）」を養うことを目標とする。</p>							①②③④⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	法の各分野の基本事項を説明できる。				・定期試験	20%	
情報収集、分析力	社会で生じるさまざまな法律問題につき、「自分ではどう考えるか、それはなぜか」という思考とそれに基づいた判断ができる。				・定期試験 ・レポート	40% 20%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	私たちの日常生活と法のかかわりについて認識できる。				・レポート ・定期試験	10% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験とレポートを総合的に勘案して評価を行う。評価比率は上記のとおりである。 定期試験は、筆記試験とし、法学についての基礎知識や法的なものの考え方を理解できたかを評価する。 レポートについては、授業内でコメントを行うなどのフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>講義形式を基本とするが、折に触れて受講者と議論しながら、日常の法律問題について考える機会を設けたい。 授業は、教科書と適時配布するレジュメを用いて展開する。 法とか法学というと、堅苦しく難解なイメージがあり、確かにそのような側面のあることも否定できないが、授業では、日常の身近な法律問題や、時事的な問題を取りあげながら解説を行い、初めて学ぶ法の世界を身近に感じてもらうようにしたい。また、法律学では、社会で生じる法律問題について、「自分ではどう考えるか、それはなぜか」という論理的な思考と、それに基づく判断が求められる。そのような思考法を身につけてもらうため、レスポンスなどを用いて受講者の意見を聞きながら授業を展開する機会も設ける予定である。受講者から出された意見については、授業内で共有し、担当教員がそれについてのコメントを行うなどの形でフィードバックを行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：大林啓吾・手塚崇聡編『ケースで学ぶ法学ナビ』みらい・2018 参考書：山下純司・深町晋也・高橋信行『学生生活の法学入門』弘文堂、2019 指定図書：教科書に同じ。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>おそらく大部分の学生にとって、法学は大学で初めて学ぶ科目のはずである。だからこそ、授業内容理解のためには、授業に欠かさず出席し、基本的事項から理解を積み上げていくことが重要となる。 以上のことから、授業外の学修としては、特に復習を重点的に行ってほしい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション 私たちの日常生活と法	授業で扱う内容、授業の進め方について説明する。 私たちの日常生活と法のかかわりについて、身近な例を通じて考える。	予習：自分と法の関わりについて振り返る。 復習：テキストの内容。
2	契約 民法（財産法）入門①	私たちにとって最も身近な法律関係である「契約」を通じて、法の基本的な考え方について学ぶ。	予習：授業前日に自分が結んだ契約を列挙する。 復習：テキストの内容。
3	契約 民法（財産法）入門②	契約における「意思表示」について学ぶ。	予習：契約の意味について再度復習しておく。 復習：テキストの内容。
4	契約 民法（財産法）入門③	契約に締結に必要とされる3つの能力について学ぶ。	予習：「意思表示」の意味について復習しておく。 復習：テキストの内容。
5	契約 民法（財産法）入門④	日常生活における契約上のトラブルと法の関係について学ぶ。	予習：自分や家族が巻き込まれた法的なトラブルについてまとめておく。 復習：テキストの内容。
6	家族と法 民法（家族法）入門①	家族法の基礎（親族、親等、など）について学ぶ。	予習：家族の法について知っていることをまとめる。 復習：テキストの内容。
7	家族と法 民法（家族法）入門②	婚姻、離婚、親子等の法律関係について学ぶ。	予習：婚姻法について知っていることをまとめる。 復習：テキストの内容。
8	犯罪・刑罰と法 刑事法入門①	犯罪とは何か、刑罰と損害賠償の相違などについて学ぶ。	予習：刑事法について知っていることをまとめる。 復習：テキストの内容。
9	犯罪・刑罰と法 刑事法入門②	刑法の基本原則について学ぶ。	予習：「罪刑法定主義」について調べる。 復習：テキストの内容。
10	犯罪・刑罰と法 刑事法入門③	犯罪を法によって罰することの意味について考える。 レポート課題の実施	予習：刑法について知っていることをまとめる。 復習：テキストの内容。
11	裁判と法 司法（裁判）制度入門①	裁判制度の基礎について学び、現代社会における裁判制度の意味について考える。	予習：裁判制度について知っていることをまとめる。 復習：テキストの内容。
12	裁判と法 司法（裁判）制度入門②	刑事手続き、裁判員制度について学ぶ。	予習：刑事手続き、裁判員制度について調べる。 復習：テキストの内容。
13	働くことと法 労働法入門①	労働者を法によって保護することの意味について学ぶ。	予習：労働法について知っていることをまとめる。 復習：テキストの内容。
14	働くことと法 労働法入門②	内定の法的意味について考える。	予習：内定の法的意味について調べてみる。 復習：テキストの内容。
15	社会保障・社会福祉と法	生存権保障およびその具体化である社会保障、社会福祉の法について考える。	予習：社会保障・社会福祉について知っていることをまとめる。 復習：テキストの内容。
16	定期試験		